

一 三つの先と云事

三つの先 一つハ我方より敵へかゝる先 けん  
の先といふ也

又一つハ 敵より我方へかゝる時の先 是ハた  
いの先と云也

又一つハ 我もかゝり 敵もかゝりあふときの先  
躰々の先と云

これ三つの先也

何の戦初にも 此三つの先より外ハなし

先の次第をもつて はや勝事を得ものなれば

先と云事 兵法の第一也

此先の子細 さま／＼有といへども 其時々  
の理を先とし 敵の心を見我兵法の智恵をもつて  
勝事なればこまやかに書分る事にあらず

第一 懸の先 我懸らんとおもふ時 静にして居  
俄にはやく懸る先 うへを強くはやくし 底を  
残す心の先

又 我心をいかにも強くして 足ハ常の足に少は  
やく 敵のきハへよると 早もミたつる先

又 心をはなつて 初中後同じ事に 敵をひしぐ

心にて 底まで強き心に勝

は何れも懸の先也

第二待の先 敵我方へかゝりくる時 少もかまはず よはきやうにミせて 敵ちかくなつて づんと強くはなれて とびつくやうにミせて 敵のたるミを見て 直に強く勝事

これ一つの先

又 敵かゝりくるとき 我もなを強くなつて 出るとき 敵のかゝる拍子の替る間をうけ 其まゝ勝を得事 是待の先の理也

第三躰々の先 敵はやく懸るにハ 我静につよくかゝり 敵ちかくなつて づんとおもひきる身にして 敵のゆとりのミゆる時 直に強く勝 又 敵静にかゝるとき 我身うきやかに 少はやくかゝりて 敵近くなつて ひともしもみ 敵の色にしたがひ 強く勝事

是躰々の先也

此儀 こまかに書分けがたし

此書付をもつて 大かた工夫有べし

此三つの先 時にしたがひ 理にしたがひ いつにても我方よりかゝる事にハ あらざるものなれども 同じくハ 我方よりかゝりて 敵を自由に

五輪書 火之卷 三つの先と云事

まはしたき事也

何れも先の事 兵法の智力をもつて 必勝事を得  
る心 能々鍛錬有べし